

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 22 号)

2024年 4月10日発行

兵庫のみ研究所

4月8日から9日にかけての降雨(地点：明石, 合計降水量48.5mm)後の調査でした。海域西部において、小型珪藻のレプトシリンドラス等は確認されますが、発生量は減少しています。海域東部では、珪藻類の発生量は少なく、わずかに確認される程度でした。窒素は、魚住鋼管～二見漁場地先で2～3 μg at/L台、別府漁場以西の陸水の影響が見られる地点で10 μg at/L以上、その他の地点では概ね1 μg at/L台の値となっています。

(水温) 漁場内平均11.6℃ (ほぼ平年並、昨年比1.8℃低い)。(塩分) 平均31.18psu。前回 (30.96) より0.22psu高い。

(珪藻、栄養塩) 海域西部において、小型珪藻のレプトシリンドラス、キートセロス等は依然確認されるが、発生量は少ない。海域東部では、小型珪藻の発生量が前回 (4/4) 調査より大きく減少しており、レプトシリンドラス等がわずかに確認される程度であった。大型珪藻ユーカンピアの発生量(海水1mlあたり)は、海域全般に0～2細胞(前回値：0～9細胞)と非常に少ない。

前回調査と同様に、まとまった降雨後の調査であったため、海域西部において陸水の影響が強く見られ、栄養塩の値が高くなっていた。海域東部では、上げ潮での調査ということもあり、漁場地先・沖筋ともに大阪湾海水が波及しており、陸水による栄養塩の顕著な増加は見られなかった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.6	11.6	11.7	13.4
窒素	7.3	3.8	3.1	2.5
リン	0.33	0.38	0.26	0.28

(4/4)

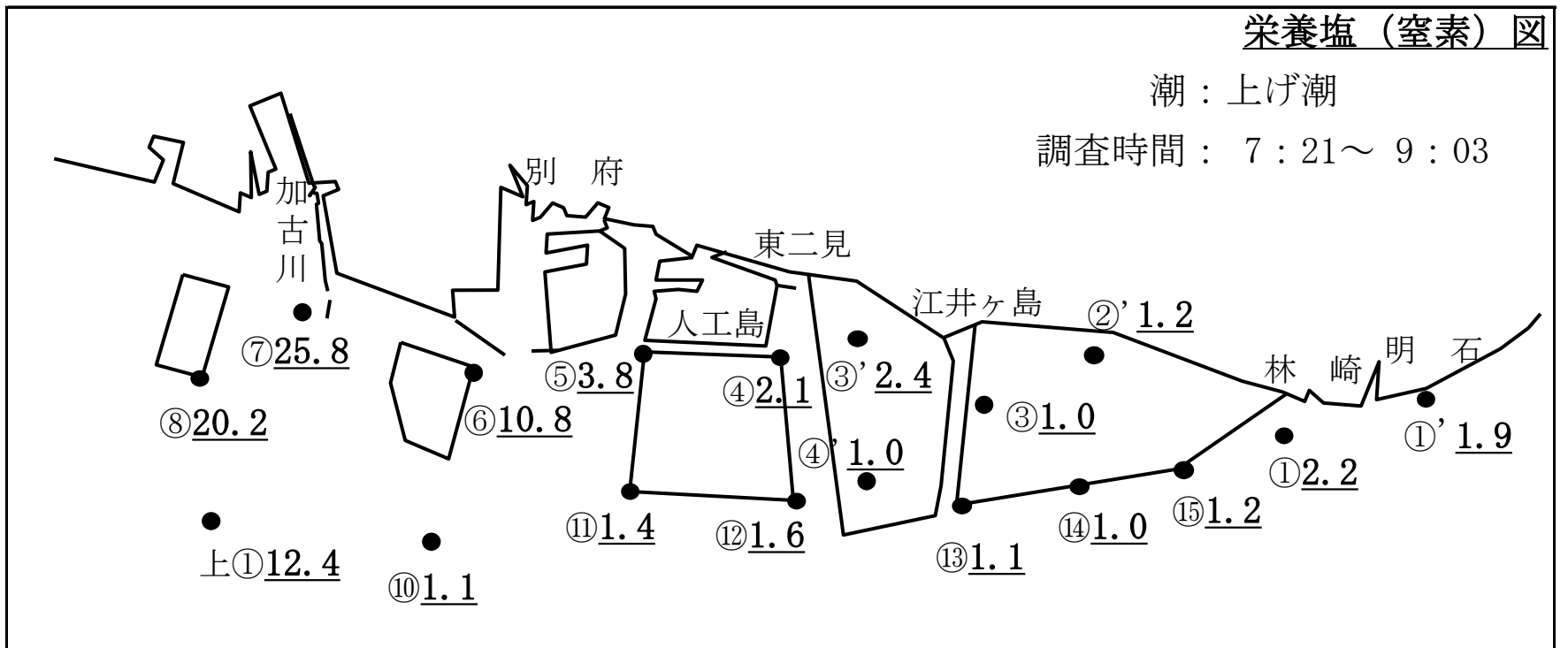
(4/11)

2024年 4月10日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：7:21～9:03



## 水温図

